



Kasai

2021年12月24日

各位

会社名 河西工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 社長役員 渡邊 邦幸
(コード:7256 東証第一部)
問合せ先 取締役 専務役員 半谷 勝二
(TEL: 0467-75-1125)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日プライム市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点(2021年6月30日)において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、「流通株式時価総額」については基準を充たしておりません。当社は、流通株式時価総額に関し、2024年度までに上場維持基準を充たすための各種取組を進めてまいります。

	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)	1日平均 売買代金 (億円)
当社の状況 (移行基準日時点)	229,804 単位	97.2 億円	58.1%	0.7 億円
上場維持基準	20,000 単位	100 億円	35%	0.2 億円
計画書に 記載の項目		○		

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

(1) 基本方針

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資する施策を迅速・果断に推進することにより、プライム市場上場維持基準への適合を目指してまいります。また、経営環境の変化に応じて柔軟に対応できる組織体制及びインフラを整備するとともに、xEV 及び環境対応分野を重点領域とした実現可能性の高い新技術・新商品の研究開発に取り組むことにより、持続的な成長を目指すための経営基盤の強化を図ることで、「流通株式時価総額」の向上を図ってまいります。

(2) 課題及び取組み内容

(課題)

当社は、企業価値向上に向けた各種施策を着実に進めていくことにより、株式市場で適正な評価を得ることが課題であると判断しております。

(取組み内容)

① 中期経営計画推進による業績向上

当社は、2020年6月に「Athletes Kasai 24」と題した2020年から2024年にかけての中期経営計画の基本方針を策定・公表し、市場の競争力激化やCASE(Connected、Autonomous、Shared、Electric)を始めとした業界全体の構造変化に対応すべく、徹底的な無駄の削減を行い、持続的に収益を確保できる経営基盤の強化と将来の成長に向けた取り組みを推進しております。

<参考>2020年度-2024年度 中期経営計画 基本方針:本資料末尾ご参照

中期経営計画の最終年度に当たる2024年度の連結業績予想は、売上高1,822億円、営業利益56億円、親会社に帰属する当期純利益は39億円、EPS(1株当たり当期純利益)98.7円を見込んでおります。2024年度業績予想のEPSと外部専門家による類似業種比較水準PERを基に理論株価を試算すると641.58円となり、流通株式時価総額は147.4億円となります。このことから、2024年度の業績目標達成に向け着実に事業展開を推進することで、更なる企業価値向上に向けて取り組み、当該期間における上場維持基準への到達を実現してまいります。なお、世界的な半導体不足や新型コロナウイルス感染症拡大に伴うその他部品の調達難を原因とする主得意先の生産調整による減産影響等に伴い、業績目標につきましては見直し中であり、確定次第、2022年度～2024年度中期経営計画を公表予定です。

<2024年度業績予想に基づく理論株価及び流通株式時価総額の推計>

EPS	PER※1	理論株価	流通株式数※2	流通株式時価総額
98.7円	× 6.5倍	= 641.58円	× 229,804単位	= 147.4億円

※1 外部専門家によるPERの類似業種比較水準

※2 流通株式数:229,804単位(移行基準日時点)

② コーポレート・ガバナンスの充実

当社は、コーポレート・ガバナンスの拡充により、プライム市場に要求される高いガバナンス水準を充足する企業を目指してまいります。なお、2021年6月に改訂されたコーポレートガバナンス・コードにつきましては、基本方針等の整備も含めて対応を完了しており、プライム市場に適用される原則を中心に実施に取り組んでまいります。

主な改訂項目	具体的な内容
取締役会の機能発揮	<ul style="list-style-type: none">独立社外取締役を1/3以上選任独立した指名委員会・報酬委員会の設置による独立社外取締役の適切な関与・助言
サステナビリティについての取組み	<ul style="list-style-type: none">サステナビリティについての取組方針を策定気候変動に係るTCFDに基づく開示の質と量の充実
その他	<ul style="list-style-type: none">議決権電子行使プラットフォームの利用開示書類のうち必要とされる情報の英文での開示・提供

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上



Athletes Kasai 24

Lean Operation & Challenge for Future Growth

新型コロナウイルスの影響により、売上・利益等の数値目標は見直し中
合理的な予想の算定が可能となった時点で開示する

✓ 市場全体の成長鈍化と、
得意先自動車販売台数の急激な減少

✓ 市場の競争環境激化による販売価格の下落

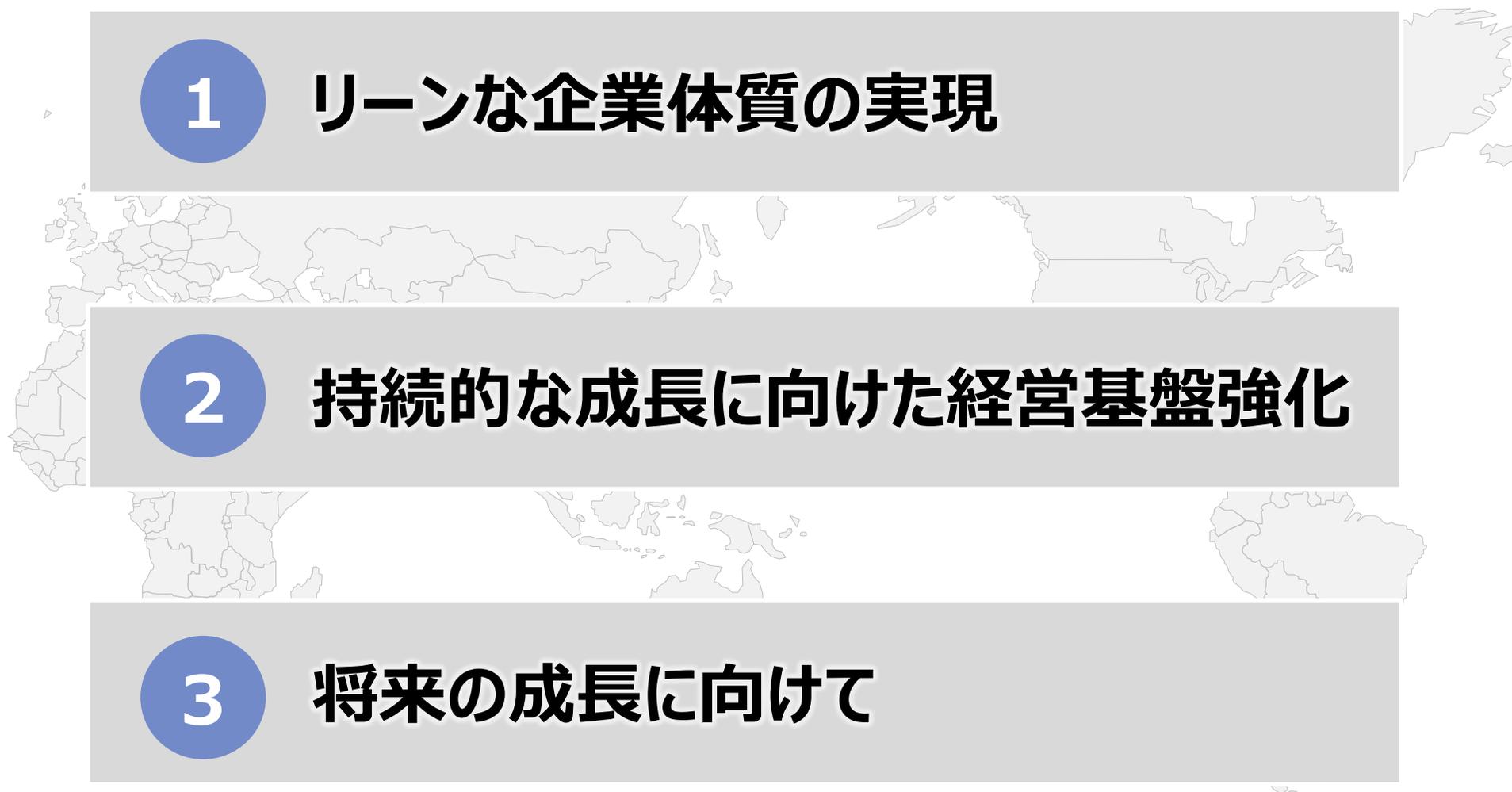
✓ “CASE”による業界全体の構造変化

【参考：2014-2023長期経営ビジョン 目標値】

連結売上高 3,000億円

連結営業利益率 8%

内装トリム世界シェア 10%



1

リーンな企業体質の実現

2

持続的な成長に向けた経営基盤強化

3

将来の成長に向けて

1 リーンな企業体質の実現

- 
- ✓ 工場再編・投資の最小化による資産効率の向上
 - ✓ 本社固定費の大幅な削減
 - ✓ 不採算事業の撲滅
 - ✓ 売上目標から利益目標へ

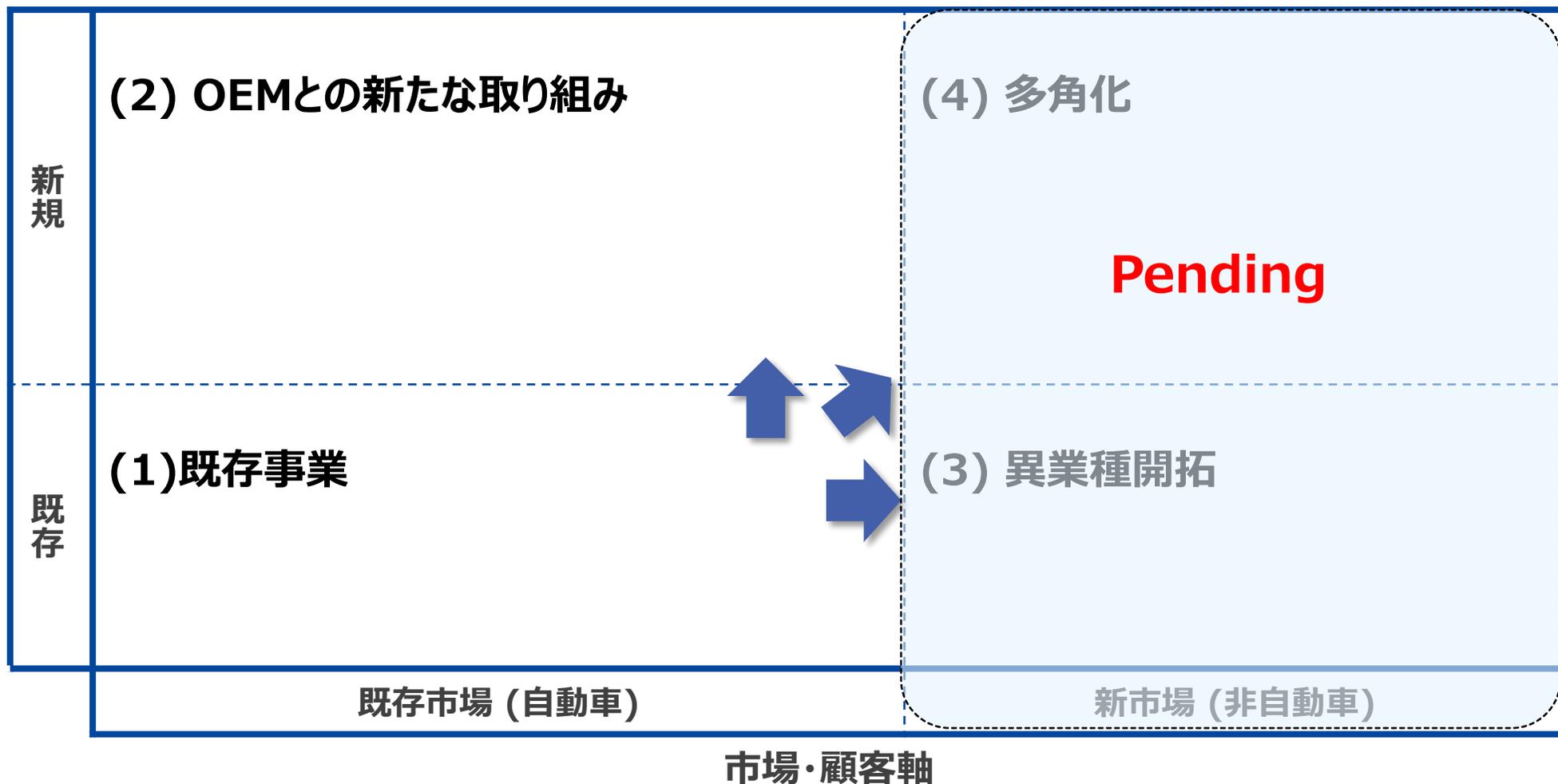
“ぜい肉”を落とし、“筋肉質”な組織に生まれ変わる

- ✓ 地域拠点主体の経営へ移行させ、権限も委譲する
- ✓ 日本地域製造拠点の統合と合理化
(河西工業ジャパンの設立 <20年10月>)
- ✓ Sales & Engineering組織改正
(生産準備の総合効率向上の為大部屋開発体制をスタート)
- ✓ 新ワークフローシステムやRPAの導入拡大による
事務合理化の加速

組織を動かすルール、インフラを見直し、持続的な成長を目指すための経営基盤を構築

3 将来の成長に向けて

製品軸
(製品・技術・サービス)



異業種への参入チャンスは伺いつつ、当面は自動車分野に経営資源を集中
xEV、環境対応分野を重点領域として、実現可能性の高い新技術・新商品の開発を推進